

学校図書館支援センター通信 NO.38 12月号

平成22年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

ようこそ！読書講演会！



武田 美穂 先生

「塩焼小学校の皆さん、こんにちは！武田美穂です。」

11月30日（火）、塩焼小学校において、絵本作家の武田美穂先生をお招きして読書講演会が開催されました。今年度、武田先生が市川市の学校にいらっしゃるのは、富貴島小学校に続き、2校目です。

ご存知のように、武田先生は、『となりのせきのますだくん』をはじめ、『ありんこぐんだん』、『すみっこのおばけ』、『おかあさん、げんきですか』『にんきものひみつ』『あしたえんそく』等、明るく、ユーモアとあたたかさにあふれた数多くの作品をかかれています。もちろん、子どもたちにも大人気！

校内テレビ放送による講演会では、あらかじめ子どもたちから出されていた質問（絵本作家になったのはなぜですか？今まで書いた本の数はどれくらいですか？子どものころの夢は何ですか？…等）に、一つ一つ優しく語りかけるように笑顔で応えてくださいました。子どもたちの目は、画面に釘付け！食い入るようにお話を聞いていました。

テレビ講演会のあとは、各教室を順番に訪問してくださいました。間近に先生にお会いした子どもたちは大喜びです。クラスごとに、先生への質問や読んだ絵本の感想発表、手作りワッペンや寄せ書きのプレゼント、絵本を題材にした川柳や寸劇の披露など、趣向を凝らしたユニークな企画で、先生と一緒に楽しいひと時を過ごしました。「お礼に」と、先生が黒板にお馴染みのキャラクターを描いてくださるたびに、「ワァー！」と、大きな拍手と歓声があがっていました。



5年女子「絵本を読んでいる人に伝えたいことは、何ですか？」

武田先生「人への思いやりをもって、人の気持ちを想像してほしいなあと思います。そして、皆さんに、明るく楽しく過ごしてほしいです。」

子どもたちにとって、忘れられないすてきな出会いになったことでしょうか！

クリスマスに読んでみたい本！

学校で、家庭で、一人で、親子で、友だちと…、クリスマスに是非、読んでみてくださいね。

- ①小学校・低学年向け 『ぐりとぐらのおきゃくさま』/中川李枝子・山脇百合子/福音館書店
- ②小学校・中学年向け 『子うさぎましろのお話』/ぶん・佐々木たづ/え・三好碩也/ポプラ社
- ③小学校・高学年向け 『サンタクロースっているんでしょうか？』/中村妙子・訳/東逸子・絵/偕成社
- ④中学生から大人向け 『賢者のおくりもの』/オー・ヘンリー文/リスベート・ツヴェルガー画/富山房

2010 国民読書年 「じゃあ、読もう。」
2010年は、「国民読書年」

推薦者：酒井セイ（市川市学校図書館支援スタッフ）



路子の部屋 「調べる学習 達人への道（その2）」

追究に値するテーマを設定しよう！

学校図書館資料を活用した学びは、一つの正解を求める学習ではなく、たくさんの情報から必要なものを選択し、収集し、考えを作り上げる学習です。この調べる行為は「問い」がなければ成り立ちません。子どもたちがほんとうに「調べたい」と思える「問い」をどう作るかを、子どもたちの立場になって考えることが鍵になります。テーマ設定の授業をこんなふうにおすすめしてみませんか。

- Point 1 調べる見通しを持てるよう、関連図書や資料などにあたって、課題を発見していこう。
リサーチマップを作っていこう。
図書から読み取ったことをマップに書き込んでいこう。
- Point 2 自分の一番興味があったことをテーマにしよう。（テーマは文にすると焦点化できる）
「東大寺の大仏は何のために作られたのだろう」
「宮澤賢治が描く音楽の世界を知っていますか」
「伊能忠敬はどうして歩数で距離が測れたのだろう」など
- Point 3 グループで互いの課題を知ったり、自分の課題を見直したりしよう。
自分の考えたテーマと使った図書を友だちに伝えよう。
利用した図書などは図書リストに記入しよう。



調べたことを鵜呑みにせず、友だちの意見も参考にしながら自分の考えを深めることができるよう、常にグループ交流を取り入れながら授業を組み立てましょう。また、自分なりのテーマを見つけるまで試行錯誤しながらテーマを変更できるよう、時間にゆとりをもって計画を立てておくことも必要です。（本シリーズは、5回にわたって掲載します。）

図書館の窓から

～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～



秋も終わりのある日、今日は一年生に「うごいちゃだめ！」を読み聞かせ。ページを2枚めくる頃には58の目がこちらに集中しています。ウーン、ヤッター！終わったところで子どもたちとトーキングタイム。「本当のチャンピオンって、どんなかな？」いろいろな意見、感想が出ます。気楽な雰囲気なので、だれでも気軽に発言しています。子どもたちも私も一番気に入っているのが、この図書の時間の始めに行っている読み聞かせです。また、今では図書委員も「出前読み聞かせ」や「放送朗読」が、すっかり板についてきて…。あれ！？字数が！まだまだ、お話ししたいことがたくさんあるんですけど…。

（柏井小学校 学校図書館員 原田 とみ）

楽しい読み聞かせタイム

～市川市文学プラザからのお知らせ～

文学プラザでは、俳人 能村登四郎の生誕100年を記念して、企画展「俳人 能村登四郎とその水脈」を次の通り開催しています。能村登四郎は、元市川学園の教師でもあり、また、市内の公立小・中学校（柏井小学校、南新浜小学校、福栄中学校）の校歌も作詞しています。是非、ご来館ください。

「子にみやげなき 秋の夜の 肩ぐるま」

◇開催期間：平成22年10月23日（土）

～平成23年2月24日（木）（月曜日休館）

◇会場：市川市文学プラザ（生涯学習センター3F）

～ふむふむ、わくわく、ぽかぽか図書館～

- ふむふむ … 学習に役立つ！
- わくわく … おもしろい本がいっぱい！
- ◎ぽかぽか … ゆったりと居心地がいい！



【鬼高小学校】

学校図書館では、作家の工藤直子さんの「やまのこもりうた」の詩と共に、イチョウや紅葉など季節感あふれる掲示物が、子どもたちをやさしく迎えてくれています。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-schooled.jp/index.html>（※「市川市教育センター」で検索できます。）

